

重 要

平成17年11月20日

関係各位

愛媛県ミニバスケットボール連盟
会 長 俊 野 孝 俊

暴力行為の根絶及びチーム運営についての提言

立冬の候、愛媛県ミニバスケットボール連盟加盟チーム関係者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。

さて、今月、四国中央市で発覚しました事件に関しましては、全国的にも報道され、ミニバスケットの普及・発展及び児童の健全育成を主たる目的としております、本連盟におきましても大変残念なことであり、深刻な問題として認識する次第でございます。

被害にあわれた児童のみなさんの一日も早い回復を願いますとともに、保護者の方々やチーム関係者のみなさんのご心情をお察ししますと、今回の事件の大きさを痛感いたすところです。

今回のような、児童の心身に悪影響を及ぼす、悲しい事件が二度と起きないように、本連盟といたしましても痛感しております。そこで、チーム関係者の方々におかれましては、次のような点で自チームを今一度見直し、改善を図っていただきたく存じます。

昨年度、日本ミニバスケットボール連盟より出されました「暴力行為の根絶に向けて」に則し、指導者と保護者会（後援会、スポーツ少年団等）の間で、再度協議する機会を設けて各チーム状況の見直しを図り、暴力行為の根絶について徹底する。

各チーム指導者は各種講習会に積極的に参加し、児童の健全育成を目指し、指導者としての技術指導面だけでなくモラル等の向上を図る。

各チームの活動場面においては、指導者や保護者による単独な考えでの指導に偏ることなく、指導者と保護者会（後援会、スポーツ少年団等）が協力し合って、複数の目で児童を見守っていかうとする体制づくりを行う。

今後、ミニバスケットボールを携わる者として、二度とこのような事件が起こらないよう再発防止に努めていただくとともに、各チーム及び地区連盟におきましては、上記の提言を受け、早期に実態把握及び改善を図りますよう、お願い申し上げます。

暴力行為の根絶に向けて

平成16年5月11日
日本ミニバスケットボール連盟

私たちは、ミニバスケットボールの活動を通して、日本におけるミニバスケットボールの健全な普及発展を図るとともに技術の向上と、指導者の資質の向上を図ることを目的としております。とりもなおさず、子ども達の健全育成がその根幹にあります。

ミニバスケットボールの「友情、ほほえみ、フェアプレイ」の精神は子どもに対してのみ要求されるものではなく、指導者に対しても要求されるものであります。

しかしながら、大変残念なことに、ほんの一部の理解の足りない指導者の暴力行為の存在を確認いたしました。

ミニバスケットボールの活動において、指導者の子供に対する**暴力行為(言葉を含む)**が行われることは許されません。例え、その行為が、保護者の同意があったとか、指導者の独りよがりの指導論等で行われたとしても許されるものではありません。ましてや、勝敗やプレーの不出来による指導者の激高から行われた場合は言語道断です。勝利至上主義に偏った指導者ほど、その傾向があるとの報告も心配されるどころです。

ほんの一握りの指導者の誤った指導方法や言動が、人々に不信や誤解を招くことを考えるならば、単にチームや、指導者個人の問題ではなく、健全育成を目指し努力している**ミニバスケットボール界全体に対する大きな問題**ととらえます。

児童の人権擁護や、ほめて育てる観点からも、暴力行為は絶対にあってはならないことです。各都道府県ミニバスケットボール連盟におかれましては、指導者の暴力行為が決して容認されるものでないことを指導者講習会や、代表者会議等の場で**指導の徹底**をお願いします。また、万が一、暴力行為が認められた場合は、迷わずに**厳正な処置**をお願いいたします。

以上